

Yonago East Weekly



【数は力なり、継続も力なり、親睦は結束を生み、結束は大いなる力なり】

- 創立 / 1968年4月24日 ● 事務所 / 米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel(0859)32-5531
- 例会日 / 水曜日12:30~13:30 ● 例会場 / A N A クラウンプラザホテル米子
- 米子市久米町53-2 Tel(0859)36-1111
- 会長 / 伊藤慎哉 ● 幹事 / 林 俊一 ● 会報 / 牧田継夫

出席報告

会員数：110名
 出席数：70名 欠席数 32名
 出席免除会員 7名：荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 宮本(守)君 高橋(孝)君 小谷君 植田君
 出席率 69.44%

メイクアップ

8/6 会員11名 (第2回理事会)
 8/8 会員6名 (米子中央RC)
 8/9 会員6名 (出席委員会)

【 会 長 挨 拶 】



スマイルBOX 25,000 円 (334,000 円)

本人誕生日祝：荒川(雄)君 植田君 長棟君 永見君
 創立記念日祝：岩崎(浩)君 井上(雄)君 秦野君
 細田君 足立(耕)君 木美君 田中君 高橋(孝)君 岡君
 出席100%祝：楠君 諸遊君 岩崎(浩)君 立脇君
 (順不同)

《 幹 事 報 告 》



- (1)本日例会後、臨時総会
米子中央RC創立30周年記念式冊子
- (2)地区大会のご案内 (岡山ドーム)
- (3)8/21 ガバナー補佐訪問例会
8/28 納涼夜間例会
- (3)当クラブ休会日 8/14
他クラブ変更は掲示板
- (4)8/21例会・・・国頭ガバナー補佐訪問
・「MOA美術館児童作品展が児童とその家庭に及ぼす影響」MOA美術館児童作品展実行委員長 面谷博紀会員

パリオリンピックでは日本人の活躍が非常に目覚ましく、特にフェンシング、男子団体で金メダルを取っております。反面、昨今の円安から急激な円高が起こり、株の急落から、昨日は金額として史上最高額、率にして市場4番目の反発と、非常に激動して今後の動向が読めない情勢になっております。

本日は立脇功二会員にバギオ基金から感謝状が届いております。バギオ基金とは比国青少年育英会バギオ基金の略称です。東南アジアで最も貧困国家であるフィリピン・北ルソン・バギオ市を中心とした向学心に燃える優秀な高校生、大学生に学費の支援を実施しているのが、バギオ基金の主たる奉仕活動です。

また今日4つのテストの唱和をいたしました。成り立ちを調べてまいりました。職業倫理について、世界で最も広く印刷され、引用されている文章の1つにロータリーの4つのテストがあります。これは1932年、ロータリー発祥約25年後のシカゴのロータリアンであるハーバード・J・テイラーさんが当時破産の危機に直面していたシカゴのクラブアルミニウム社の経営を引き受けるように要請された際に草案・構想なさったそうです。

ハーバードJテイラーさんは社の倫理訓について構想を巡らせ最初およそ105の文章をしたためましたが、長すぎると判断して7つの項目にまとめたそうです。4つのテストは当初は7つのテストだったそうです。これでも長いと考えた彼は自問形式の4項目にまとめあげ、これが今日の4つのテストとなり、1943年に採用され、100か国語以上に翻訳され、何千もの形で発行されています。

ハーバード・テイラーさんは1954~55年度の国際ロータリーの会長を務められております。

ということで4つのテストですけれども理想論ですね。

真実かどうかというのはなかなか医学でも難しいですし、それとみんなに公平って私はちょっとできておりません。

理想論としてロータリーが掲げておりますが、皆様はいかがでしょうか？



THE MAGIC OF ROTARY

【今週の表彰・感謝状】

- ・米山功労者表彰・・第6回マルチプル 楠 明彦君
- ・バギオ基金感謝状・・立脇功二君



＜本日のプログラム＞

【ロータリーの友・・雑誌委員会 木山力哉君】



P4,P5 RI会長メッセージ：難題を好機に

会員増強月間ということで、会員増強の例をまとめて紹介されております。

P7 新しいクラブ新しいスタイル

新しい切り口で創立されたクラブをヒントに、さらに新しいクラブの在り方を探し、会員増強に至った事例を紹介します。

P12～15 ヒントがどこにもあります。

P30 ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

P54 RI指定記事 ・ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
・カルガリー国際大会

縦書きP18 出雲RC100年歌は謎だらけ

縦書きP20 馬と人とのうまい関係

【会員増強・維持について・・会員増強・維持委員 井上賢明君】



8月は会員増強月間だそうです。昔のことを思い出しながらチャレンジ100から今日に至るまでをお話しさせていただきたいと思います。西澤リーダーから手紙を預かっており、純増一人を目指す、女性メンバーを増やしたいとの事。6名から7名の入会目標を頑張ります。

実は、2010～11年のときの会員数が74名でした。その2、3年前から会員増強の話をしており、チャレンジ100というスローガンで何とか頑張ろうと5年ぐらいかけて達成できました。私が入会した30年ほど前、種田会長の時代がちょうど100名ぐらいいましたが、中央クラブができたリバブルが弾けたこともあり、結果74名でした。それで、新年度にスローガンを掲げながら、米子東にとってウィンは何だろうか？会員が喜ぶことは何なのか？そして入会される方がよかったなと思うことが何なのか？を考えた上で会員増強に向かっていこうとなりました。携帯を開いて登録してある名前を、見込みがあろうとなかろうと書きだしてもらい、沢山集まった情報をもとに整理して5、6年続けた気がします。金銭的な負担も減らそうとシミュレーションし、入会金の5万円や会費も2万円の削減をしました。これは100名を超えたらもっと中身のある事業も増えるし、予算もそこにつぎ込める。といったところであります。他のクラブからは様々な面でお叱りを受けた記憶がありますが、それはそれとして、米子東クラブも一生懸命努力していった方がいいと思い、断固として続けていきました。この12年間で約100名入会されてますが、60名ぐらいは転勤など入れ代わりで退会されてる。在籍2～3年だった方も一緒にお話しできたというのは大変財産になった気がしております。

私が会長になる頃に高知県のロータリークラブと野球の試合をして、あわやノーヒットノーランで惨敗しかけたとき唯一ヒットを打ったのが永見吉平会員でした。ノーヒットノーランは阻止できたものの、あまりにも悔しくて、米子東野球部は一から出直さなきゃいけないと、甲子園、千&グレン杯の全国優勝を目指して頑張ろうと今の強い強い米子東野球部ができました。野球のできる人は米子東クラブへ勧誘して実績も上がってきたというのが現状であります。

オリンピックの話も出ていましたが、多様性と愛と平和を訴えた、すごく多彩な演出の開会式でした。このロータリークラブもいろんな価値観、多様性を持った人たちの集まりであり、米子東ロータリークラブという根底で繋がっているわけです。

入会してからは、楽しく友達も増やしたり仲間も増やしたり、思いを一つにしてその中で結ばれた一員です。ので、思いを一つにしてこれからも会員増強にご尽力をお願いいたします。多様性のなかからいっぱい学ぶことがあると思いますので、ぜひぜひ今後とも会員増強について熱意を持って皆さん方一人一人が勧誘し情報を提供していただければ幸いです。